

華道部 チーム「花音」、優秀校（全国2位）に！！



□メダルを胸に、優秀賞の作品とともに記念撮影

高校生チームがいけばな日本一を競う「Ikenobo 花の甲子園 2016 全国大会」が11月13日、京都の池坊会館で開かれ、本校華道部のチーム「花音（かのん）」（2年生：可児 春奈さん、兒玉 彩花さん、西脇 夢乃さん）が出場しました。

今年度の花の甲子園は、全国から過去最多の142校が出場し、13日は、各地区大会を勝ち抜いた13校がいけばなを競いました。東高華道部は、全国大会に3年連続で出場しており、今年度は、全国大会2連覇の大きなプレッシャーがかかる中での出場でした。

大会は、午前の部と午後の部の2部構成。1部は、与えられた45分間で3人それぞれが1作品ずつ制作するというもの。2部には、1部を勝ち抜いた3校のみが進み、花ばさみをバトン代わりに、リレー形式で、3人で1つの作品を仕上げます。

チーム「花音」は、「花と音」をテーマに、見事に1部を突破。2部は「オーケストラ」をテーマにお花を生け、プレゼンテーションで魅せました。最優秀賞は逃しましたが、2年連続、堂々の入賞。優秀賞（全国2位）で「東高華道部、ここにあり！」を見せつけてくれました。



□1部 いけこみの様子



□2部 プレゼンテーション



□出場者全員で記念撮影



応援して下さいました皆さま方、
どうもありがとうございました！！